



保谷中学校の教育「5つの柱」

校長 市来原 真茂

令和 7 年 4 月 1 日付けで保谷中学校に着任いたしました校長の市来原 真茂です。どうぞよろしくお願いいたします。今週の入学式では、希望に満ちた 150 名の新入生を迎え、全校生徒数 488 名での新たなスタートとなりました。保谷中学校は、「あたたかな環境と信頼関係にもとづき、生徒一人ひとりが多様な可能性やよさを発揮し、将来の自主自立につながる学校」、「一人一人の個性を尊重し相互に高め合える学校」、「みんなが持続可能な社会に向けて課題解決を図る学校」の実現をめざします。

生徒が大人になったとき、社会で自らのよさ・強みを発揮し、堂々と生きていけるように「自主自立」の育成をコンセプトに「5つの教育の柱」を設定し、教職員が一丸となり取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

1の柱 「探究力・学びを生かす力」の育成

【実社会に生きて働く学力】

- (1) 生徒一人一人の「問い」や「疑問」から「自ら学ぶ力」を引き出し、「深い理解」を伴う「基礎基本」の「確実な習得」を促す。更に、自ら「課題」を設定し「解決」に向かう「探究する力」や「自ら学習を組み立てていく力」を培う。
- (2) 目標・課題の提示と終末の振り返りを行い、生徒が自らの学びを把握する「メタ認知力」を培う。また生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- (3) タブレット等の効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びの相乗効果を図る。

2の柱 「豊かな感性・実践力」の育成

- (1) 生徒とのふれあいを大切にしながら生徒の内面に迫り、生徒一人一人の深い生徒理解をもとに、自他を尊重し多様性を認め合う豊かな人権感覚や感性・実践力を培う。
- (2) 自他の多様な可能性やよさを認め合い、相互に高め合える共生社会の市民性を培い、またいじめや偏見・差別を許さない姿勢を育む。
- (3) 道徳を全教員が担当し、各々の専門性を生かし、道徳的な諸価値を通じて生徒自身のよりよい生き方への考えを深め、実践を促す。

3の柱 「キャリア形成・夢の実現」の支援

- (1) 生徒が将来の夢を抱き、夢の実現に向けて自己のキャリア形成を図れるように、全教育活動を通して生徒一人一人が自分のよさを発揮し実感できるよう指導の工夫を行う。
- (2) 授業を通して各教科の学びのよさや魅力を生徒に伝え、学級活動や行事を充実させ、生徒が学校の学びに価値を見出し自己のキャリア形成に位置づけ夢の実現に生かせるようにする。
- (3) 本町小学校との小中連携教育研究において、生徒の主体的・協働的な学びを、ファシリテーションの指導方法を研究・活用し協働する。児童・生徒の「思考力」を高め、「協働し、課題解決の力を育成する。

*R6, 7 年度 西東京市小中一貫教育研究指定校

あたたかな環境と信頼関係のもと、生徒が自らの可能性やよさを見出し相互に高め合い、持続可能な社会に向けて一人ひとりが自己を生かし「自主自立」を培う学校の実現
令和 7 年度 「重点目標」

< 5つの柱 >

- 1 「探究する力・学びを生かす力」
- 2 「豊かな感性・実践力」
- 3 「キャリア形成・自己実現」
- 4 「やり抜く力・たくましい心と体」
- 5 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」

5の柱 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成

- (1) 学級や委員会等のよりよい集団活動を目指し互いの意見や主張を調整し合い、ルール等をつくり合う経験から、規範意識の醸成を図る。
- (2) 「西東京ふるさと探究学習」をはじめ職業学習や挨拶運動・ボランティア活動等の体験を通して、社会に貢献する意欲・意識を培う。
- (3) 多様な体験学習を取り入れる。生徒同士の学び合いを活性化させ、多様な他者とともに課題解決を図る活動を充実させ、持続可能な共生社会の創り手となる資質・能力を育成する。

4の柱 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成

- (1) 生徒が自ら創り上げる行事を成功させ、達成感や自己肯定感を育み、やり抜く力を培う。
- (2) 毎年、生徒自らが考え創り上げる準備運動「保中ステップ」を保健体育で実施し「生徒主体」のやり抜く力や基礎体力の向上を図る。

*R3 年度 東京都教育委員会 体力向上推進優秀校

- (3) 各学期での「生活習慣の振り返り調査」を基とした、個に応じた指導助言による健康教育を推進する。

急激な変化が継続する複雑・多様なグローバル社会の中で、生徒が夢や希望をもち、自らのよさ・強みを発揮し、社会で他者と協働し堂々と生きていけるよう、一人一人が持続可能な共生社会の創り手となる人間を育成する。